

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	広島医療保健専門学校
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	32 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本校ホームページ → https://www.furusawa.com/iryo/ 以下の URL からより「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表が閲覧可能 https://www.furusawa.com/iryo/report/2023_class_list.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島医療保健専門学校
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページ → <https://www.furusawa.com/iryo/>
以下の URL からより、理事（役員）名簿が閲覧可能
https://www.furusawa.com/iryo/report/r5_04_executivelist.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 株式会社 顧問 元 広島市 助役	2022. 3. 18 ～ 2024. 3. 17	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役	2022. 3. 18 ～ 2024. 3. 17	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島医療保健専門学校
設置者名	学校法人 古沢学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 毎年、各学科でシラバス掲載内容の確認を行い、各授業担当責任者が掲載内容に沿ったシラバスを作成し、学科長等で掲載内容が到達目標等に沿った授業スケジュールであるかを精査している。 ・授業計画の作成・公表時期 3月下旬に作成し、公表している。 ・授業科目の公表方法 入学年度学生便覧へ教育課程表(授業科目名、講義・演習・実習の別)を掲載し、各学年授業開始前に学生全員へ当該年度時間割、シラバスを配付している。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校 ホームページ → https://www.furusawa.com/iryo/ 以下のURLからより、授業計画が閲覧可能。 https://www.furusawa.com/iryo/report/2023_syllabus.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の目標を到達出来たかを、シラバス掲載の成績評価方法(例:期末試験60%、レポート20%、授業への取り組み状況10%等)によって、成績評価基準に基づいた厳格な成績評価(秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D))により5段階評価を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAはS、A、B、C、Dの5種類の学業成績評価に応じた係数(Grade Point)を用い、以下に示す算出方法により算出する。

学業成績評価	S	A	B	C	D	N
Grade Point	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	—

N：単位認定

《算出方法》

$$\text{GPA} = \frac{\sum (\text{Grade Point} \times \text{履修科目の単位数})}{\text{履修科目の単位数の合計} (\text{※未修得の履修科目の単位数も含む})}$$

(※単位認定(N)された科目の単位数は含まず)

前期期末成績通知書は後期授業開始後に、後期期末成績通知書および年次成績通知書を年度末に担任から配布する。また、保証人には、別途郵送にて送付する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本校 ホームページ → <https://www.furusawa.com/iryo/>
以下の URL からより、成績評価における客観的な指標が閲覧可能。
https://www.furusawa.com/iryo/report/2023_grade.pdf

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>広島医療保健専門学校 理学療法学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し、卒業試験に合格した学生に対して卒業認定会議をもって学校長が卒業の認定を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法士に必要な基本的な知識および技術 2. 総合的な臨床能力・実践力 3. 考える力、判断する力、解決する力 <p>「高度専門士」の称号が付与される専門学校の要件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修業年限が4年以上 2. 総授業時数が3,400時間(124単位)以上 3. 体系的に教育課程が編成されていること 4. 試験等により成績評価を行いその評価に基づいて課程修了の認定を行っていること <p>【卒業・進級の認定基準】</p> <p>カリキュラムの総単位数は172単位であり、基礎分野25単位、専門基礎分野58単位、専門分野89単位、そのうち専門分野の臨床実習は29単位とし、実習に力を入れて実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各学年において、指定された科目のすべてを履修し、さらに定められている卒業に必要な単位を修得すること 2. 各科目の出席率が80%以上であること 3. 未納金がないこと <p>進級および修了、または卒業を判定する会議は、本校教職員による判定会議において学校長が最終認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本校 ホームページ → https://www.furusawa.com/iryo/ 以下のURLからより、卒業の認定に関する方針が閲覧可能。 https://www.furusawa.com/iryo/report/diplomapolicy.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	広島医療保健専門学校
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学園ホームページ → 財務情報の公開 https://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	本学園ホームページ → 財務情報の公開 https://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
財産目録	本学園ホームページ → 財務情報の公開 https://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
事業報告書	本学園ホームページ → 財務情報の公開 https://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
監事による監査報告（書）	本学園ホームページ → 財務情報の公開 https://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	172 単位時間/単位	143 単位時間 /単位	単位時間 /単位	29 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			172 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		48人	0人	7人	51人	58人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業計画（シラバス）の作成過程 毎年、各学科でシラバス掲載内容の確認を行い、各授業担当責任者が掲載内容に沿ったシラバスを作成し、学科長等で掲載内容が到達目標等に沿った授業スケジュールであるかを精査している。 授業計画の作成・公表時期 3月下旬に作成し、公表している。 授業科目の公表方法 入学年度学生便覧へ教育課程表（授業科目名、講義・演習・実習の別）を掲載し、各学年授業開始前に学生全員へ当該年度時間割、シラバスを配付している。

成績評価の基準・方法

(概要)

GPAはS、A、B、C、Dの5種類の学業成績評価に応じた係数(Grade Point)を用い、以下に示す算出方法により算出します。

学業成績評価	S	A	B	C	D	N
Grade Point	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	—

N：単位認定

《算出方法》

$$\text{GPA} = \frac{\sum (\text{Grade Point} \times \text{履修科目の単位数})}{\text{履修科目の単位数の合計} (\text{※未修得の履修科目の単位数も含む})}$$

(※単位認定(N)された科目の単位数は含まず)

前期期末成績通知書は後期授業開始後に、後期期末成績通知書および年次成績通知書を年度末に担任から配布します。また、保証人には、別途郵送にて送付します。

卒業・進級の認定基準

(概要)

広島医療保健専門学校 理学療法学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し、卒業試験に合格した学生に対して卒業認定会議をもって学校長が卒業の認定を行う。

1. 理学療法士に必要な基本的な知識および技術
2. 総合的な臨床能力・実践力
3. 考える力、判断する力、解決する力

「高度専門士」の称号が付与される専門学校の要件

1. 修業年限が4年以上
2. 総授業時数が3,400時間(124単位)以上
3. 体系的に教育課程が編成されていること
4. 試験等により成績評価を行いその評価に基づいて課程修了の認定を行っていること

【卒業・進級の認定基準】

カリキュラムの総単位数は172単位であり、基礎分野25単位、専門基礎分野58単位、専門分野89単位、そのうち専門分野の臨床実習は29単位とし、実習に力を入れて実施する。

1. 各学年において、指定された科目のすべてを履修し、さらに定められている卒業に必要な単位を修得すること
2. 各科目の出席率が80%以上であること
3. 未納金がないこと

進級および修了、または卒業を判定する会議は、本校教職員による判定会議において学校長が最終認定を行う。

学修支援等
(概要) 日々の学習、心身の健康、学生生活、就職支援など、学生一人ひとりにきめ細やかな指導・ケアを行う。 学生が入学から卒業まで安心して充実した学生生活が送れるよう担任制を中心に、教職員全員で学校として「愛情のある教育」を実践している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	15人 (78.9%)	4人 (21.1%)
(主な就職、業界等) 病院・施設			
(就職指導内容) 学生個人の希望に応じたマッチングを行った上での斡旋。試験に向けて、面接・小論文の指導を対面やオンラインで実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	10人	15.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 適宜、個別面談を実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法	250,000 円	1,450,000 円	30,000 円	休学中に在籍料 (年額) (半期は 15,000 円)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構の給付型奨学金採用候補者は、入学金のみを納入し前期分授業料の納入に関しては、遅滞なく進学届を提出することを条件に入学後 2 か月までを猶予とする。 ・入学金減免制度 本校ホームページ → https://www.furusawa.com/iryo/ 以下の URL からより閲覧可能 https://www.furusawa.com/iryo/applicant/pt_02.php#a10 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 ホームページ → https://www.furusawa.com/iryo/ 自己点検・評価報告書を公表 以下の URL からより閲覧可能。 https://www.furusawa.com/iryo/report/2022_hyouka_report.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 医療機関 (理学療法士) 2 名、卒業生 (理学療法士) 1 名、保証人 3 名から選任し、構成された評価委員会が、自己点検・自己評価の結果について評価する体制を整える。 基本方針 ①教育の質の確保・向上を図るとともに授業内容・教育活動を充実させる。 ②高い国家試験合格率を目指す。 ③より一層の就職率向上を図る。 ④学校運営全体の改善に活かす。 評価項目 ①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 職業教育、関連分野の施設との連携等 ④学習成果 進路指導、国家試験対策指導等 ⑤学生支援 在校生・卒業生・保護者との連携等 ⑥教育環境 ⑦学生募集 ⑧法令遵守 個人情報保護対策等 ⑨社会貢献・地域貢献 評価委員会の構成

<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習施設（理学療法士）2名 ・卒業生1名 ・保証人3名 <p>学校関係者評価の活用状況及び活用時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価をもとに学校関係者評価委員会で協議する。 ・今後の改善方法等を検討し、可能なものから実施する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療機関勤務（理学療法士）	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (2年)	理学療法士
医療機関勤務（理学療法士）	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (2年)	理学療法士
医療機関勤務（卒業生）	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (2年)	卒業生
保証人	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (2年)	保証人
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>本校ホームページ→https://www.furusawa.com/iryo/</p> <p>以下のURLからより閲覧可能</p> <p>https://www.furusawa.com/iryo/report/2022_hyouka_report_2.pdf</p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>本校 ホームページ → https://www.furusawa.com/iryo/</p>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	広島医療保健専門学校
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-	-	-
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。